

令和2年度 総合計画進行管理対象主要事業の進捗状況について (1月末現在)

■ 緊急的かつ分野横断的なもの

No	事業名 (所管課)	●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組(1月末現在)
1	新型コロナウイルス感染症対策の推進 (新型コロナウイルス感染症危機対策本部)	●感染症の拡大防止等 ◆検査体制の強化 ⇒ 宇都宮市PCR検査センターの開設 5月 PCR検査センターの開設 【検査実績計6,255件】(1/31現在) ⇒ 唾液採取によるPCR検査体制の確立 9月～出張PCR検査を開始 【実施回数43回(検体数計1,652件)】(1/31現在) 12月～保健所での臨時PCR検査を開始 【実施日数34日(検体数計2,465件)】(1/31現在) ⇒ 必要に応じた無症状者も含めた検査等の実施 10月～妊婦への分娩前ウイルス検査の開始【申請実績計:117件】(1/31現在) 1月～一定の高齢者等を対象としたPCR等検査助成事業の開始 【申請実績計:81件】(1/31現在) ビジネスPCR等検査支援事業の開始 【申請実績計:45社,708件】(1/31現在) ⇒ 検査能力の拡充 4月 帰国者・接触者外来の拡充【6医療機関】 5月 市衛生環境試験所にPCR検査機器の追加配備【計4台】 PCR検査の外部機関への業務委託【1機関】 【検査件数(市):4月～1月 9,538件】(1/31現在) 行政検査の医療機関への業務委託 【診療・検査医療機関99機関,1,279件/日】(1/19現在) 【検査件数(委託):5月～1月16,170件】(1/31現在) ◆学校における感染症対策 ⇒ 感染症対策に必要な物品の配備 6月～保健衛生物品(消毒液等)を全校に配付【93校】 8月～各学校に必要な物品を配付 (消毒用アルコール,手洗い石けん液,非接触式体温計,サーキュレーター,空調服等) 10月 学校に追加希望物品調査を実施 11月～各学校に必要な物品を追加配付 (サーキュレーター,アクリル仕切版,コピー用紙,フェイスシールド, 消毒用アルコール,手洗い石けん液オートディスペンサー等) ◆地域公共交通における感染症拡大防止対策 ⇒ 路線バス,タクシー事業者に対する支援 5月～地域内交通における感染症拡大防止対策の実施 1台あたりの乗車人数を2名以下にする乗合制限の実施 運転席と後部座席との間へのシールドの設置 7月～「宇都宮市地域公共交通感染症拡大防止対策事業費補助金」の創設・申請受付 拡大防止対策(車内消毒等)【申請件数:路線バス 1社 タクシー 23社】 混雑緩和対策(路線バス増便)【申請件数:路線バス 2社】 (参考)1月末時点の路線バス運行本数 6月時点比(増便前)107%

	<p>◆新型コロナワクチン接種の実施</p> <p>⇒ ワクチン接種実施体制の構築</p> <p>1 2月 新型コロナウイルス接種実施対策本部準備班の立ち上げ (12/24 設置：保健所内 5名体制)</p> <p>1月 新型コロナウイルス接種実施本部の設置 (1/29)</p> <p>2月 宇都宮市新型コロナワクチン接種実施計画の策定</p> <p>3月～ワクチン接種開始 (医療従事者など順次予定)</p> <hr/> <p>●経済対策の推進</p> <p>◆雇用維持と事業継続のための支援</p> <p>⇒ 新型コロナウイルス感染症対策特別資金の創設</p> <p>3月 申請受付の開始【申請：1, 660件】【申請額：15, 561, 118千円】</p> <p>8月 申請期間の延長決定 (8月末まで⇒12月末まで)</p> <p>1 2月 申請期間の再延長決定 (12月末まで⇒3月末まで)</p> <p>⇒ 企業等応援助成金の創設</p> <p>4月 申請受付の開始【申請：8, 973件】</p> <p>1月 申請受付の終了</p> <p>⇒ 農業応援助成金の創設</p> <p>5月 申請受付の開始【申請：個人21件 法人10件 (再掲)】</p> <p>1月 申請受付の終了</p> <p>⇒ 新業態開拓等支援補助金の創設</p> <p>5月 申請受付の開始【申請：240件】</p> <p>1 2月 申請受付終了【申請432件】</p> <p>⇒ 家賃減免支援補助金の創設</p> <p>6月 申請受付の開始【申請：165件】</p> <p>1月 申請受付終了【申請：291件】</p> <p>⇒ 家賃支援助成金の創設</p> <p>8月 申請受付の開始</p> <p>9月 申請受付終了【申請368件】</p> <p>⇒ 市民活動団体応援助成金の創設</p> <p>5月～申請受付の開始</p> <p>1月 申請受付の終了 (15日)【申請53件, 交付49件, 交付額4, 700千円】</p> <p>⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止営業時間短縮協力金の実施</p> <p>1月 第1弾：栃木県と共同実施 (市独自上乗せ含む)【対象期間：1/8～1/14】</p> <p>第2・3弾：栃木県と共同実施【対象期間：1/15～2/21 (予定)】</p> <p>◆経済活動の回復に向けた消費喚起策の実施</p> <p>⇒ プレミアム付き飲食券事業の実施</p> <p>6月 飲食券の販売・利用開始</p> <p>9月 早期利用特典の引換終了【早期利用特典引換数20万枚】</p> <p>飲食券の販売終了 (完売)【飲食券販売数40万冊】</p> <p>1 0月 取扱店の募集終了【取扱店数1, 512店舗】</p> <p>1 2月 飲食券の利用期限 (12月28日まで)</p> <p>1月 飲食券の換金終了 (1月26日まで)</p> <p>◆観光需要の回復に向けた取組の実施</p> <p>⇒ 観光誘客促進事業の実施</p> <p>5月 観光推進委員会設立</p> <p>7月 観光需要回復促進事業補助金の申請受付開始【交付：5件】</p> <p>8月～コロナ禍における観光誘客促進事業を展開</p> <p><商品造成等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「プレミアム観光クーポン宇都宮」販売 (11月～) (観光推進委員会) 周遊クーポン：202名購入, 宿泊クーポン：25名購入 ・ 「三密回避旅行商品」の販売 (11月～) (観光推進委員会) 参加人数：124名 ・ 北西部地域でのライトアップや観光客多く来訪する「餃子通り」においてのれん設置 (10月～) (観光推進委員会) ・ 自転車による周遊を促す 「ツールド大谷サイクルチケット」販売 (市)【利用実績：27枚】 ・ 中心市街地と北西部観光施設を巡る 「宇都宮満喫くるくるバス」運行 (10月～11月) (市)【乗客数：593名】 <p><プロモーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇都宮観光プロモーション「GO TO 宇都宮」の実施 (観光コンベンション協会) Twitter フォロワー数 約12千フォロワー
--	--

●市民の生活支援の推進

◆市民生活の安定化に向けた取組の着実な推進

⇒ 特別定額給付金の給付

5月 オンライン申請受付及び支払開始

8月 給付金申請締切

【給付状況】

	世帯		人	
	件数	割合	件数	割合
オンライン申請	10,219	4.3%	25,158	4.8%
郵送申請	226,625	95.2%	495,013	94.9%
合計	236,844	99.5%	520,171	99.7%

※給付済額：520億1,710万円

※総世帯数：237,985世帯 総人数：521,684人

⇒ うつのみや17・18応援給付金の支給

8月 申請書の発送, 申請受付の開始(受付期間3か月)

9月 給付金の支給開始(申請から1か月を目途に支給)

11月 受付終了

12月 支払終了

【給付状況】

・ 申請書受付数 8,139件

・ 支給件数 7,210件

・ 支給金額 72,100千円

・ 不支給件数 929件(所得制限超過)

⇒ うつのみや赤ちゃん応援特別給付金の支給

10月 申請書の発送, 申請受付の開始, 給付金の支給開始(申請から1か月を目途に支給)

【給付状況】(1月末現在)

・ 申請書発送数 2,604件

・ 申請書受付数 2,476件

・ 支給件数 2,116件

・ 支給金額 211,600千円

⇒ 国のマイナポイント事業に併せた本市の上乗せポイント付与

9月 上乗せポイント付与事業開始

【ポイント付与人数：17,115人(1月末現在)】

国のマイナポイント事業の延長に伴い9月まで延長

◆生活困窮者に対する支援

⇒ 住居確保給付金の対象範囲の拡大

4月 国による給付対象者の拡大, 給付要件の緩和

4月～申請受付 【申請件数：407件(1月末)】

⇒ 生活困窮者自立相談支援事業の実施

4月～【相談件数：4,315件(1月末)】

⇒ 解雇等により住居の退去を余儀なくされる方への市営住宅の入居措置

4月～市営住宅の提供【20戸】

◆情報発信の充実

⇒ 臨時記者会見の開催

3月～市長による臨時記者会見【開催：10回】

⇒ 市長動画の作成

4月～動画の掲出【5回】

⇒ 広報うつのみやによる特集

4月～広報紙への特集記事の掲載【10回】

7月 広報うつのみや臨時号の発行【発行部数：165,000部】

1月 緊急事態宣言周知ちらしの発行【発行部数：146,500部×2回】

⇒ 各課SNS・メール配信・アプリによる情報発信

1月 【2回】

⇒ 市政広報番組(テレビ・ラジオ)による情報発信5・1月

とちぎテレビ【2回】 ケーブルテレビ【2回】

4月～市長出演ラジオ【10回×3局】

4月～ミヤラジ【14回】CRT【10回】

⇒ 新型コロナ生活相談センターの開設

4月 専用電話を設置【相談件数：563件】

I 「子育て・教育の未来都市」の実現に向けて（子育て・教育・学習 分野）

No	事業名 (所管課)	<p>●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組（1月末現在）</p>
2	<p>子育てと仕事の両立支援の充実 (保育課)</p>	<p>●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組（1月末現在）</p> <p>●保育需要に対応した供給体制の確保等 ◆教育・保育施設の施設整備 ⇒ 既存施設の活用による供給体制の確保 5月～認定こども園・保育所の整備事業者の募集・選定（1回目） 7月～認定こども園・保育所の整備事業者の募集・選定（2回目） 12月～東部区域における認可保育所新設の募集</p> <p>◆「利用定員の弾力化」の活用 ⇒ 定員の弾力化 4月～各施設における入所の受入【入所率：114.2%】</p> <hr/> <p>●保育士等の確保・育成 ◆保育の担い手である保育士の着実な確保 ⇒ 「とちぎ保育士・保育所支援センター」活用による保育士確保や新たな支援策の検討 4月 東京圏養成校向けの情報提供を実施【対象：7校】 5月～子育てLINE「教えてミヤリー」や自治会回覧によるセンター事業の周知 7月 就職フェアの開催【参加者：136名】 10月 「保育のお仕事PR動画」（市作成）を市内高等学校に配布【校数：10校】 【保育士・保育所支援センターを通じた市内就職者25名】 12月 就職フェアの開催【参加者：34名】 【保育士・保育所支援センターを通じた市内就職者：34名】</p>
3	<p>子どもを守り育てる支援の充実 (子ども未来課) (子ども家庭課)</p>	<p>●子どもの貧困対策プロジェクトの推進 ◆親と子どもの居場所づくり事業スキームの構築 ◆貧困の連鎖を断ち切るための市民理解の促進 ⇒ 親と子どもの居場所づくり事業のモデル事業の実施及び子どもの貧困についての周知・啓発 4月～「親と子供の居場所」のモデル事業実施に向けた準備 9月 モデル事業開始（市内2か所）【利用登録組数：7組、5組】 12月 【利用登録組数：10組、10組】</p> <hr/> <p>●総合的な児童虐待防止対策の強化 ◆行政の関わりの少ない子育て家庭の把握・支援の強化 ⇒ 満4歳未満就園児全戸訪問の実施 6月 広報紙6月号掲載 7月～訪問等実施【対象：128件】 12月～年度途中の転入児童について、随時訪問等を実施 (継続的支援を必要とする家庭がないことを確認)</p> <hr/> <p>●ひきこもりに悩む本人や家族の把握・支援の強化 ◆ひきこもりに悩む家族等への支援強化 ⇒ ひきこもり本人・家族の当事者団体が実施する「ひきこもり本人・家族の居場所づくり事業」に対する支援制度の創設 4月～居場所づくり事業（カフェ苺屋、宇都宮若者の居場所）拡充 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止 6月～居場所づくり事業再開 7月 「ふらっぶだより」自治会回覧にて居場所づくり事業の周知 【利用者累計：350人（12月末時点）】</p> <p>⇒ 県が実施した「見える化調査」への対応 7月～「見える化調査」の分析 9月 調査結果を踏まえた今後の取組のあり方について検討開始 12月 関係課と連携しながら、民生委員・児童委員など地域に密着した支援者向けの周知啓発手法について検討</p>

4	<p>教育環境の充実</p> <p>(学校教育課) (文化課) (生涯学習課) (学校管理課) (学校健康課) (教育センター)</p>	<p>●宇都宮学の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「宇都宮学」に係る副読本や教師用指導資料等の作成 ⇒ 中学校版「宇都宮学」副読本等編集委員会での内容検討 5月～「宇都宮学」編集委員会の開催（副読本及び指導計画について） ◆「宇都宮学」の実施 ⇒ 編集委員会による年間指導計画モデルプラン等の作成 ⇒ 各小学校への取組促進及び次年度実施に向けた中学校への情報共有 ◆市民に向けた「宇都宮学」の取組 ⇒ 小学校版「宇都宮学」副読本の市HP掲載 4月～市HPでの小学校版「宇都宮学」副読本公開開始 ⇒ 小学校版「宇都宮学」副読本の図書館等での貸し出し 4月～市内図書館及び生涯学習センターでの副読本貸し出し開始 <p>●G I G Aスクール構想の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒1人1台端末が利用できる環境の整備 ⇒ 高速大容量の校内通信ネットワークの整備 5月～校内通信ネットワークの環境整備【全小中学校：94校】 ⇒ 1人1台端末の計画的な導入 6月～端末の取得に向けた手続き等【端末：43,179台】 ⇒ 家庭での通信環境支援 9月～家庭での通信環境の支援方法について検討 12月～令和3年度中のオンライン家庭学習の本格実施に向けたモバイルルータ貸与策の検討 ◆これからの時代に求められる資質・能力の確実な育成 ⇒ まなびポケット全児童生徒1人1アカウント配付 5月 まなびポケットアカウント配付開始 ⇒ 1人1台端末の活用 ⇒ A I型個別学習ドリル教材導入の検討 7月 オンラインによる教職員研修実施（教育センター） 1月 教職員用アカウント配付 宇都宮市G I G Aスクール構想特設サイト開設 宇都宮市学校教育情報セキュリティポリシーを改定 2月 令和3年度のモデル事業実施に向けたA Iドリルソフトの選定（予定） <p>●快適な教育環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校施設(校舎・体育館、給食施設、空調)の計画的な整備・更新 ⇒ 学校施設の長寿命化 7月～明保小学校体育館長寿命化改修工事実施設計 8月～篠井小学校体育館長寿命化改修工事（～令和3年7月予定） ⇒ 中学校体育館への空調設置 6月～事業スキームの検討 10月～業者からの提案募集 12月 設置業者の決定 2月 6月までの全中学校体育館への設置完了に向けた設置工事の着手（予定）
5	<p>宮っ子ステーション事業の充実</p> <p>(生涯学習課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの家等事業の新運営体制への円滑な移行 ⇒ 新たな運営主体への業務の円滑な引継ぎ 4月～新たな運営主体の選定に向けた詳細設計 6月 公募開始・現地見学会開催 11月 候補者の決定・公表 12月 指定管理者の指定に関する議決 1月～指定管理者別ブロック説明会 運営体制の引継ぎ ◆事業実施場所の確保 ⇒ 子どもの家の施設整備や指導員の確保 4月～令和元年度中に新たに確保した事業実施場所と指導員体制で事業開始 (令和2年度 事業実施場所 174箇所, 指導員数 351人) 7月～令和2年度新設の施設整備着手（明保小、ゆいの杜小） 12月 令和3年度利用申込み状況調査 12月～令和3年度利用児童数の確定に伴う事業実施場所確保のための再調整

6	<p>スポーツ環境の充実</p> <p>(スポーツ振興課) (総務広報課) (競技運営課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●北西部地域への体育施設整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆施設機能の精査及び建設候補地の選定 ⇒ 施設機能の精査，建設候補地の検討 <ul style="list-style-type: none"> 4月～施設機能・規模の検討，建設候補地の選定に向けた検討 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備 <ul style="list-style-type: none"> ◆市民総参加による大会開催準備の推進 ⇒ 市実行委員会の運営 <ul style="list-style-type: none"> 5月 総会（令和2年度事業計画，収支予算の承認等） 宿泊衛生専門委員会（医療救護対策要項の策定等） 8月 弁当部会（弁当調製施設選考基準及び募集要領の策定等）（～10月） 10月 総務企画専門委員会（炬火イベント実施要項，ボランティア募集要項，売店設置運営要項の策定等） 11月 宿泊衛生専門委員会（医療救護対策実施要領，感染症（防疫）対策実施要領の策定等） 輸送交通専門委員会（消防防災・警備業務実施要項の策定） 競技式典専門委員会（情報通信基本計画の策定等） ⇒ 大会開催の広報活動や市民運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 4月 広報サポーター・広報ボランティアの募集開始 応援メッセージ付きカウントダウン写真の一般募集開始 5月 工業高校へのカウントダウンボード製作依頼 国体開催周知15秒CM制作・ホームページ等で公開 7月～既存イベント・講座等と連携したPR活動の実施（12回） （ブレックスアリーナスポーツフェスティバルなど） 8月 市有施設へのポスター・のぼり旗の設置 地区巡回PR展示の実施 （8月：清原地区，9月：本庁舎，10月：国本地区，11月：豊郷地区，12月：富屋地区，1月：上河内地区） 10月 芸術系の大学・専門学校への手作り応援のぼり旗制作依頼 11月 開催2年前イベントの開催（ミヤ・ジャズイン内ステージ） ◆円滑な競技会運営に向けた準備 ⇒ 競技会場整備等 <ul style="list-style-type: none"> 4月 屋板運動場庭球場人工芝張替実施設計 6月 栃木県市町競技施設整備補助金交付決定 7月 屋板運動場庭球場クラブハウス新築工事契約 9月 清原体育館バリアフリー化工事，空調整備工事契約 屋板運動場庭球場人工芝張替工事契約 屋板運動場庭球場照明改修工事完了 ⇒ 配宿業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> 7月 日本スポーツ協会国体委員会において宿泊料金の決定 8月 競技団体本部宿舎に係る調査実施（県・市） 10月～宿泊実態調査開始（県・市） 11月～競技団体本部宿舎に係る調整（県・市） 第4回市町村宿泊・輸送担当者会議（県）
---	--	---

II 「健康・福祉の未来都市」の実現に向けて（健康・福祉・医療 分野）

No	事業名 (所管課)	●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組（1月末現在）
7	健康づくりの推進 (健康増進課) (保健予防課) (保険年金課)	<p>●受診率向上対策の推進</p> <p>◆A Iの活用や集団健診予約システムの機能拡充による健診受診率の向上</p> <p>⇒ A Iを活用した特定健診等の受診勧奨（＊）</p> <p>6月 事業者と業務委託契約を締結</p> <p>9月 受診勧奨通知の発送【発送：50,000通】 電話勧奨の実施【勧奨：1,044人】</p> <p>3月 受診勧奨の評価（予定）</p> <p>＊ 過去の特定健診の受診履歴、性別や年齢等のデータを基に、A Iを活用した統計解析により対象者をタイプ別に分類し、はがきのメッセージを変更して行う受診勧奨</p> <p>⇒ 健診メニューのパッケージ化と集団健診予約システムの機能拡充</p> <p>7月 健診内容と集団健診予約システムの課題整理 他自治体の状況調査</p> <p>8月～健診メニューのパッケージ化を検討 「健康づくりのしおり」の記載内容の見直し</p> <p>10月～集団健診予約システムの機能見直し 予約しやすいシステムの導入に向けた検討の実施</p> <hr/> <p>●地域・職域連携による健康づくりの推進</p> <p>◆健康づくりに取り組む事業所の拡大</p> <p>⇒ 事業所における健康づくりを促進する取組の実施</p> <p>6月～第1回地域・職域連携推進協議会（今年度の事業計画） 栄養士等の専門職を派遣した健康講座の実施【講座：8回】</p> <p>7月～協議会構成団体等の既存事業と連携した健康教育の実施</p> <p>9月～健康づくり事業者表彰の募集（～10月）</p> <p>12月 第2回地域・職域連携推進協議会（今年度の進捗状況）</p> <p>1月～ビジネスPCR等検査支援事業の開始【申請実績計：45社、708件】（1/31現在）</p> <hr/> <p>●健康ポイント事業の推進</p> <p>◆市民の積極的な参加促進</p> <p>⇒ 市民の積極的な参加を促進する取組の実施</p> <p>4月～市ホームページ、市広報紙を活用した事業周知 各種関係団体等と連携した事業周知 アプリ参加者のポイント交換開始</p> <p>6月～活動記録票参加者のポイント交換開始</p> <p>11月～抽選物品の配布開始【目標人数：22,000人（令和4年度末）】 【参加人数：24,201人（1月末）】</p> <p>◆歩数を増加させるための仕掛けづくり</p> <p>⇒ アプリのチェックポイントを活用した歩かせる仕掛けづくりの実施</p> <p>4月～各地区ウォーキングマップを活用したウォークラリーの開催【開催：全28回予定】</p> <p>10月 目標活動量達成ポイント倍増キャンペーンの実施</p> <p>3月 目標活動量達成ポイント倍増キャンペーンの実施（予定）</p>
8	地域包括ケアシステムの 深化・推進 (高齢福祉課) (保健福祉総務課) (健康増進課)	<p>●地域共生社会の実現に向けた取組の推進</p> <p>◆保健福祉サービスの充実・強化</p> <p>⇒ (仮称)共生型地域包括支援センターの設置及び保健福祉拠点の充実・強化に向けた検討</p> <p>◆ひきこもり等の複合化した事案に係る保健と福祉の相談体制の充実</p> <p>⇒ ワンストップで受け止める相談窓口の周知及び連携強化 迅速かつ的確な支援につなげるためのスキームづくり</p> <p>4月 保健と福祉の相談の実施内容の再周知 相談内容等を関係各課で共有するためのツール（つながるシート）の暫定利用開始</p> <p>6月 つながるシートを使用した対応策検討の試行的実施</p>

	<p>●認知症対策の推進</p> <p>◆認知症が疑われる方への初期対応の充実</p> <p>⇒ 認知症初期集中支援チームの対応力の向上に向けた研修・事例検討会の開催</p> <p>⇒ 医療・介護等の関係機関との役割分担・連携方法の検討</p> <p>6月 地域包括ケア推進会議認知症対策部会（書面開催）（令和2年度の取組内容について）</p> <p>9月～もの忘れ相談会の開催【開催日数5日，相談72件】</p> <p>11月 地域包括ケア推進会議第2回認知症対策部会（みんなで考える認知症月間の取組結果報告や見守りグッズの活用に係る意見聴取）</p> <p>11月～国主催「認知症初期集中支援チーム員研修（東京）」へ参加 （11月：行政1名，2月予定：行政2名，地域包括支援センター職員1名）</p> <p>◆認知症サポーターの養成及び活動支援の充実</p> <p>⇒ 認知症サポーターの養成のほか，認知症サポーターを具体的な支援活動に繋げるための取組の実施</p> <p>4月～認知症サポーター養成講座の開催【受講者：1，375人】</p> <p>6月 地域包括ケア推進会議認知症対策部会（令和2年度の取組や今後の施策について）</p> <p>11月～認知症パートナー養成の「認知症サポーターステップアップ講座」の開催 【第1回受講者：17人】</p> <p>2月 認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修の開催（予定）</p>
	<p>参考：【認知症サポーター】 認知症について正しく理解し，認知症の人やその家族を温かく見守る応援者</p> <p>【認知症パートナー】 認知症サポーターステップアップ講座を受講し，傾聴やレクリエーション活動などの具体的な支援活動を行う認知症サポーター</p> <p>【認知症キャラバン・メイト】 「認知症サポーター」を養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し，その講師役を務める者</p>
	<p>●高齢者の日常生活支援の充実</p> <p>◆生活支援体制整備事業の推進（第2層協議体の設置促進，運営支援）</p> <p>⇒ 第2層協議体の取組事例等を整理した手引きなどを活用した第2層協議体の設置促進</p> <p>⇒ 第2層生活支援コーディネーターの配置支援</p> <p>4月～第2層協議体設置に向けた勉強会の開催</p> <p>6月～地域包括ケア推進会議生活支援部会の開催 【第2層協議体設置 26地区（前年度末から7地区増加）】</p> <p>1月 西原地区の第2層協議体において，第2層生活支援コーディネーターを配置</p>
	<p>●介護人材の確保</p> <p>◆安定的な介護人材の確保に向けた施策の立案・実施</p> <p>⇒ 若年層の介護人材確保に向けた調査や人材確保策の検討</p> <p>6月 第1回栃木県介護人材確保対策連絡調整会議への参画</p> <p>7月～市内の介護福祉士養成機関への実態調査及び一部の介護福祉施設へのヒアリング調査の実施（若年層の介護人材の就労状況等について）</p> <p>9月 県が実施している若年層を対象とした介護人材確保対策事業の実績調査・分析</p> <p>2月～市内所在の高齢者介護施設・事業所への介護人材に係る採用・就職状況の実態調査（予定）</p> <p>◆介護予防・日常生活支援総合事業の推進</p> <p>⇒ 「訪問型サービスA」の従事者養成に向けた研修の開催や参入意向がある事業者と研修修了者のマッチングの実施，NPOや各種団体などに対する「訪問型サービスB」事業参入の推進</p> <p>6月～各種団体等への事業説明</p> <p>7月～訪問型サービスAの従事者養成研修の実施【実施：4回，39人】</p>
	<p>●高齢者施設の整備促進</p> <p>◆高齢者施設の着実な整備</p> <p>⇒ 適正な公募・事業者選定・工事進捗確認の徹底</p> <p><広域型特別養護老人ホームの整備>【繰越・増設：40床】</p> <p>6月 完了検査の実施</p> <p>8月 運営開始</p> <p><地域密着型サービスの整備></p> <p>・認知症高齢者グループホーム【36床】</p> <p>9月～工事着工</p> <p>3月 竣工（予定）</p> <p>・（看護）小規模多機能型居宅介護【1事業所】</p> <p>4月 整備事業者の募集開始</p> <p>7月 整備事業者の受付（応募なし）</p> <p>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護【1事業所】</p> <p>4月～事業開始に向けた準備</p> <p>3月 運営開始（予定）</p>

Ⅲ 「安全・安心の未来都市」の実現に向けて（安心・協働・共生 分野）

No	事業名 (所管課)	<p>●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組（1月末現在）</p>
9	<p>総合的な治水・雨水対策の推進</p> <p>(河川課) (道路保全課) (農業企画課) (農林生産流通課) (公園管理課) (下水道建設課) (下水道管理課) (工事受付センター) (危機管理課)</p>	<p>●総合治水・雨水対策基本方針に基づく先行事業の着実な推進 ※ 先行事業については、当初の目標貯留量である約20万m³を大きく上回る約33万m³の貯留量を確保</p> <p><治水（流す）対策> ◆浸水被害への対策の推進 ⇒ 水門や樋管の修繕及び操作・運用方法の確認 4月 現地調査（水門等箇所確認） 5月 利用実態，損傷度調査【11箇所】 9月 操作方法及び河川増水時の対応への考え方を整理 ⇒ 千波地区における雨水放水路の貯留施設の活用 4月 現地調査 7月 雨水放水路の貯留化仮設工事完了 10月 貯留化に向けた対策手法の決定</p> <p><流域（貯める）対策> ◆効果的・効率的な雨水貯留の推進 ⇒ 水上公園暫定貯留浸透施設整備工事の実施 6月 水上公園暫定貯留浸透施設整備工事の完了 ⇒ 学校等の施設内における雨水貯留の実施 4月 雨水貯留タンク設置工事の着手 7月 校庭貯留の雨水貯留工事一部完了，貯留タンク設置完了【小中学校：63校】 ⇒ 雨水貯留・浸透施設設置費補助制度の拡充及びPR活動 4月 事業所・集合住宅を補助対象に拡充し制度を広報紙等でPR 5月～建築関係機関，駐車場管理会社，貯留・浸透施設メーカー，事業者関係団体等へ制度案内 10月 上下水道事業懇話会においてPR方法について意見聴取 11月～SNSによるPRを開始 12月～自治会へ個別説明を開始</p> <p>◆田んぼダムの普及に向けた農業者等の理解促進・実効性の高い実施体制の構築 ⇒ 田んぼダムの普及促進 5月 地区説明会の実施 6月～協力農業者への意向調査 排水調整マスの設置，調整資材等の支給 7月 土地改良区との協力協定締結 9月 田川流域における効果分析に向けた現地測量等の実施 10月 田川流域の農業者に対するアンケート調査の実施 11月 田んぼダム研究コンソーシアムの開催（中間報告） 1月 あぜ塗り機導入費補助金の創設・事業の周知</p> <p>◆安全かつ適正な放流実施体制の構築 ⇒ 赤川ダム試験放流の実施 4月～試験放流に向けた実施体制の構築 7月 赤川ダム試験放流 8月 土地改良区との「赤川ダム管理協定」の締結 1月 赤川ダムの機能調査，試験放流結果等の検証</p> <p><減災・水防（防ぐ・備える）対策> ◆市民の危機意識の醸成 ⇒ 令和元年度東日本台風の浸水深さの電柱等への表示の実施 4月 浸水被害等の情報収集 9月 電柱等への表示板の取付工事完了【取付：26箇所】 ⇒ 内水ハザードマップ作成のための浸水解析調査の実施 6月 浸水解析調査業務の発注 12月 基礎情報の整理が完了し，浸水解析を開始 ⇒ 洪水，土砂災害ハザードマップの改訂 9月～洪水ハザードマップ作成業務委託契約 洪水ハザードマップの改訂作業実施 10月～土砂災害ハザードマップの改訂作業開始</p>

●溢水・浸水被害等の解消に向けた中長期的な取組の推進

◆総合治水・雨水対策基本方針に掲げた目標実現に向けた具体的取組の検討

⇒ 「(仮称)総合治水・雨水対策推進計画」の策定

4月 「第1回一級河川田川における宇都宮市街地の浸水対策検討会」(参加者:県,市)

7月 推進計画の策定に向けた委託業務契約を締結

8月 「鬼怒川・小貝川上流流域治水協議会」

「第2回一級河川田川における宇都宮市街地の浸水対策検討会」(参加者:県,市)

9月～氾濫シミュレーション解析の実施

11月 「利根川・江戸川流域治水協議会」参画

<治水(流す)対策>

◆奈坪川整備の円滑な推進

⇒ 計画的な用地取得と工事の推進

4月～競輪場通り橋梁工事(継続事業)

9月 2橋(今泉新町)の橋梁工事発注

10月 分流施設設計業務委託発注

◆雨水幹線整備工事の着実な実施

⇒ 雨水幹線の計画的な整備

【平出工業団地関連排水区】

4月～越戸川6号幹線(鬼怒通り部)整備中

6月～越戸川6号幹線(産業通り部)工事発注

【中丸川排水区,駒生川第4排水区,鬼怒川関連排水区】

5月～実施設計業務委託発注

【江川第4排水区】

9月 基本設計業務委託発注

◆新川調節池の円滑な整備推進

⇒ 江曾島調節池流入部の築造,今宮調節池の用地取得

7月～今宮調節池の用地取得,測量業務・地質調査の発注

11月 江曾島調節池流入部築造工事発注

12月 今宮調節池 地質調査完了

<流域(貯める)対策>

◆効果的な道路冠水軽減対策の推進

⇒ 透水性舗装などの軽減対策の実施

1月 透水性舗装などの工事完了(御幸ヶ原町ほか14箇所)

⇒ 道路冠水対策の検討

(宝木町2丁目,下荒針町,白沢町,下岡本町)

5月～道路冠水原因の調査開始

8月～道路冠水軽減に向けた対応策の検討

12月 道路冠水原因の調査完了

◆田川・姿川流域公園への貯留施設設置の推進

⇒ 公園貯留施設設置の検討

10月 「田川・姿川流域公園貯留施設設置検討調査業務委託」完了

⇒ 水上公園貯留浸透施設整備工事の実施

6月 水上公園貯留施設実施設計業務委託完了

8月 水上公園貯留浸透施設整備工事(総合治水・雨水対策事業)発注

11月 水上公園貯留浸透施設整備工事(総合治水・雨水対策事業)着手

12月 水上公園貯留浸透施設整備工事(総合治水・雨水対策事業)完了

<減災・水防(防ぐ・備える)対策>

◆避難情報伝達体制の強化

⇒ 登録制防災メールや防災ラジオなどの普及促進の実施

4月～登録制防災メールのパンフレット設置に向けた,携帯電話販売店等への協力依頼

6月～携帯電話販売店等へのパンフレット設置

⇒ 改訂版「わが家の防災マニュアル」の周知

10月 改訂版「わが家の防災マニュアル」配布(新聞折込み)【配布:約14万部】

		<ul style="list-style-type: none"> ◆避難所体制の強化 ⇒ 「避難所ガイドライン」の作成・周知 7月～避難所ガイドライン感染症対策編(*)の作成, 周知 * 市として, 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた「避難所開設・運営シミュレーション訓練」を実施し, 当該訓練の結果を反映させた避難所ガイドライン ⇒ 災害情報共有システムの活用 5月～共有システムの構築 6月 共有システムのシステム確認・試験運用 7月 運用に伴う研修の実施, システム運用開始 ⇒ 備蓄の拡充 5月～備蓄品(感染症対策物資)の調達 9月 備蓄避難所等への物資拡充(50か所の物資を50人分から100人分に拡充) ⇒ 避難所開設・運営体制の強化 8月 風水害時に優先的に開設する避難所(48か所)及び運営従事職員の選定 9月 市(地域防災拠点, 避難所運営従事職員), 地域, 避難所施設管理者との打合せ実施 避難所運営従事職員への研修実施
10	<p>協働によるまちづくりの推進</p> <p>(みんなでまちづくり課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり活動応援事業の推進 ◆市民, 団体等の積極的な参加促進と活動の活性化 ⇒ 事業説明会やICTを活用した事業内容の周知 ⇒ 参加促進に向けた具体的な方策の検討 4月～アプリ・WEB参加者のポイント交換の開始 各種媒体(HP, SNS, パンフレット等)を通じた事業周知及び理解促進 活動者へのアンケートの実施(～9月末まで) 5月～紙参加者のポイント交換の開始 地域団体, NPO, 企業等への活用依頼の実施 6月～宇都宮市地域活動ガイドラインの周知 9月 ポイント交換受付終了 活動者アンケート結果のとりまとめ 10月～実施団体へのヒアリング及び活動事例集の作成の実施(コロナ禍における活動実態, 今後の活動状況など) 実施団体へのアンケートの実施(コロナ禍における活動の継続性や事業の有効性等の把握)(11月末まで) 事業PR動画の作成 1月～「まちづくり活動応援事業活動事例集」の作成・情報発信 「新しい生活様式に基づく宇都宮市地域活動ガイドライン」の改訂, 周知 2月～事業PR動画の作成, 情報発信(予定) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会への加入促進と活性化の支援 ◆地域の実情に応じた加入促進 ◆自治会相互の顔の見える関係づくり ⇒ 集合住宅居住者等への加入促進のモデル自治会での取組実施 ⇒ 自治会共通の課題解決に向けたワークショップの開催 4月 業務委託に向けた事業内容の整理(仕様書, 業者選定方法) 6月 宇都宮市自治会連合会への事前説明(協力依頼) 7月 事業者の決定 8月～自治会加入に向けたアドバイザーの派遣開始(モデル自治会) 10月～自治会活性化支援事業開始(講座等の開催) (ワークショップの開催・計4回) 3月 事業成果まとめ(自治会への周知)

11	<p>女性活躍の推進</p> <p>(男女共同参画課) (産業政策課) (住宅課)</p>	<p>●企業等との連携による女性活躍事業の推進</p> <p>◆仕事と子育て家庭のインターンシップ事業等の実施手法の検討と効果的な周知啓発</p> <p>⇒ 大学生を対象とした、インターンシップ及び経営者等との交流会事業の実施</p> <p>4月～インターンシップ及び交流会事業の実施手法検討</p> <p>8月～市内大学・短大へリーフレットの配布【配布：8校】</p> <p>10月 第1回「みやシャイン女性活躍推進協議会」開催</p> <p>11月～インターンシップ及び交流会事業への参加学生の募集開始，受入企業の募集・開拓</p> <p>12月 Zoomを活用した「キャリア形成講座」の開催 【受講者：14人】</p> <hr/> <p>●女性の就労・居住の促進</p> <p>◆オフィス企業立地支援補助金の利用促進</p> <p>⇒ 東京圏のオフィス企業を対象とした本市への立地促進</p> <p>4月 オフィス企業立地支援補助金の補助要件を拡充（ICT関連企業に対する賃借料，通信回線使用料に係る補助の拡充）</p> <p>10月 東京都港区虎ノ門に「宇都宮サテライトオフィス」を開設し，補助制度をPR 【申請受付実績：5者（うち1者は，東京都内から新設）】</p> <p>◆家賃補助制度等の利用促進策の検討</p> <p>⇒ 女性の移住・定住を促進する住宅施策の周知と仕組みの充実</p> <p>4月～家賃補助制度の申請受付開始，事業PRの開始</p> <p>5月～現行制度の効果検証を踏まえた仕組みの検討</p>
----	--	---

IV 「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて（魅力・交流・文化 分野）

No	事業名 (所管課)	●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組（1月末現在）
12	<p>大谷周辺地域の振興と大谷石文化の魅力発信</p> <p>(都市魅力創造課) (観光交流課) (農業企画課) (農林生産流通課) (道路建設課) (文化課) (地域政策室)</p>	<p>●地域資源を活かした持続可能な地域振興の推進</p> <p>◆「大谷夏いちご」の安定した生産体制の構築</p> <p>⇒ 夏秋いちごの安定した生産体制の確立</p> <p>4月～上駒生地区におけるほ場整備の推進 冷熱エネルギーモニタリング調査（3期）の開始</p> <p>5月 大谷地区の夏秋いちご生産者3者により、「大谷夏いちごブランド推進協議会」を設立</p> <p>8月～参入希望企業（2社）に対する円滑な就農に向けた農地や生産技術の確保等の支援</p> <p>⇒ ほ場整備事業の推進</p> <p>4月 事業認可、共同施行体地区委員の選定</p> <p>5月 上駒生ほ場整備に係る地元説明会</p> <p>8月～ほ場整備事業に向けた地元と参加希望企業（2社）との調整</p> <p>1月 事業計画の変更等に係る共同施行体臨時総会の開催</p> <p>◆冷熱エネルギー等を活用した新たな事業の具体化</p> <p>⇒ 半地下型ハウスでの円滑な調査・研究の実施に向けた民間事業者等との連携・支援</p> <p>4月～半地下型ハウス（*）での冷熱エネルギー等の効果的な活用に向けた研究開始 （大谷夏いちごの栽培）</p> <p>* 採取場跡地内に賦存する冷熱エネルギーの活用に加え、保温性の高い半地下ハウス等のエネルギー効率の高い設備導入により、ランニングコストの低減や夏いちごの品質安定等を図るための研究を行うもの。</p> <hr/> <p>●観光地域づくりを支える機能・基盤の充実</p> <p>◆観光交通ネットワークの向上</p> <p>⇒ 道路改良に向けた詳細設計や、スマートシティと連携した観光交通社会実験の実施</p> <p>4月～新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた社会実験の実施時期・内容の精査</p> <p>5月～市道632・635号線道路改良における測量設計の実施</p> <p>10月 観光型Maasと連携した観光交通社会実験の実施</p> <p>【主な利用実績：実施期間 10/31（土）～11/6（金）（7日間）】</p> <p>グリーンスローモビリティ（CV8）：2,056</p> <p>グリーンスローモビリティ（ハイカート）：478</p> <p>レンタサイクル：192 くるくるバス：593（*10/24～11/3のうち5日間）</p> <p>◆大谷観光周遊拠点施設の整備等</p> <p>⇒ 用地確保や開発許可に必要な調査・測量、施設の設計等の実施</p> <p>7月～旧大谷公会堂解体保存工事 大谷観光周遊拠点施設整備に向けた測量業務</p> <p>10月 旧大谷公会堂の解体・保存完了</p> <p>12月 大谷観光周遊拠点施設の整備に係る基本設計業務</p> <p>⇒ 新たな観光コンテンツの創出に向けた検討</p> <p>11月 地域資源を活かした新たな観光コンテンツの創出に向けた官民連携による試行実施 Untergrundstimme～チカノコエ～</p> <p>実施期間 10/31（土）～11/8（日）</p> <p>場 所 大谷資料館横</p> <p>内 容 地下空間を活用した、デジタルアートによる昆虫博物館</p> <hr/> <p>●『日本遺産 大谷石文化』の魅力発信の推進</p> <p>◆「日本遺産 大谷石文化」の普及と地域活性化</p> <p>◆「宇都宮市大谷石文化推進協議会」を核とした官民連携の促進</p> <p>⇒ 日本遺産魅力発信事業の実施</p> <p>⇒ 協議会の運営</p> <p>4月 ホームページ・インスタグラム・ツイッターによる情報発信 市民ホールにおける大谷石文化パネル展開催</p> <p>5月 宇都宮市大谷石文化推進協議会第2回会議</p> <p>8月 事業者決定（ガイド中級講座・大谷石文化学）</p> <p>10月 ガイド中級講座 第1・2回開催【全5回、参加者21名】 日本遺産フェスティバル in 今治でのPR活動</p> <p>11月～ガイド中級講座 第3・4・5回開催、事業者決定（案内板設置等）</p> <p>1月 大谷石文化学有識者による連載開始</p>

13	<p>魅力ある景観づくりの推進</p> <p>(景観みどり課) (L R T 企画課) (L R T 整備課) (都市魅力創造課)</p>	<p>●L R T 沿線における景観形成の推進</p> <p>◆L R T 沿線における地域特性に応じた景観形成の推進</p> <p>⇒ 宇都宮駅東口・駅周辺区間における景観形成に係る指針の作成等</p> <p>5月～地元関係者との意見交換に向けた地権者等調査</p> <p>8月～自治会長等との意見交換，事業説明</p> <p>11月～駅周辺区間景観づくりワークショップの開催（2回）</p> <p>鬼怒通り沿線企業へアンケートの実施</p> <p>⇒ 市街化調整区域区間における屋外広告物の規制・誘導</p> <p>4月～具体的な規制手法や対象エリアの検討</p> <p>1月 権利者説明会の実施</p> <p>2月～パブリックコメントの実施（予定）</p> <p>⇒ 清原工業団地区間における景観形成手法の検討</p> <p>8月～清原工業団地管理協会との意見交換，事業説明</p> <p>11月～清原工業団地内に立地する企業へアンケート及びヒアリングの実施</p> <hr/> <p>●景観形成重点地区指定に向けた取組の推進</p> <p>◆大谷地域における地権者や建築関係団体等の理解促進</p> <p>⇒ 景観形成重点地区の指定に向けた説明会等の実施</p> <p>7月 城山地区連合自治会への説明</p> <p>9月～地権者説明会の開催</p> <p>10月 都市計画審議会において審議</p> <p>景観審議会において審議</p> <p>11月 景観形成重点地区指定の告示</p> <p>12月 宇都宮市景観条例の一部改正</p> <p>1月 施行</p> <p>◆釜川の資源や魅力を生かした景観づくりに向けた地元の理解促進</p> <p>⇒ 地元協議会と連携した景観形成基準や景観づくり活動の検討</p> <p>4月 釜川周辺地区景観づくり推進協議会との意見交換</p> <hr/> <p>●大谷石建築物の保全・活用の推進</p> <p>◆大谷石建築物の保全・活用による景観の保全・創出</p> <p>⇒ 実施方策の検討</p> <p>4月～保全・活用に向けた実施方策の検討</p>
14	<p>歴史文化資源の保存・活用</p> <p>(文化課)</p>	<p>●みや遺産（市民遺産制度）の推進</p> <p>◆制度の本格実施に向けた市民や地域等の機運醸成</p> <p>⇒ 効果的な周知活動</p> <p>⇒ 円滑な制度運用</p> <p>4月～地域まちづくり推進協議会制度説明</p> <p>5月～宇都宮市自治会連合会制度説明</p> <p>7月 募集開始（～9月末）広報紙，ホームページ掲載</p> <p>9月 応募締切【応募件数：10件】</p> <p>10月 宇都宮市民遺産会議委員の委嘱</p> <p>12月 第1回宇都宮市民遺産会議，現地による意見聴取の実施</p> <p>1月 第2回宇都宮市民遺産会議</p>

V 「産業・環境の未来都市」の実現に向けて（産業・環境 分野）

No	事業名 (所管課)	<p>●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組（1月末現在）</p>
15	<p>持続的な産業振興の推進</p> <p>(商工振興課) (産業政策課) (中央卸売市場) (政策審議室)</p>	<p>●東京圏における交流・活動機能の強化</p> <p>◆東京圏における交流・活動拠点の設置と事業構築</p> <p>⇒ 適切な設置場所の選定と効果的な事業活動の実施</p> <p>8月 入居施設との契約締結</p> <p>10月 東京都港区虎ノ門に「宇都宮サテライトオフィス」を開設 対面形式と動画配信を併用した本市PRイベントの開催 【参加人数：対面形式30名、動画配信視聴100名】</p> <p>◆東京圏における新たな人的ネットワークの構築とビジネスマッチングの支援</p> <p>⇒ ビジネスマッチングの支援などを行うビジネスコーディネーターの活用とネットワークを構築する交流会の実施</p> <p>7月 コーディネート業務の委託契約締結</p> <p>10月～市職員とビジネスコーディネーターによる企業訪問を開始し、プロモーションを実施 【訪問・対応件数：市外250件、市内20件】 【ビジネスマッチング案件：8件】</p>
		<p>●本市産業を牽引するベンチャー企業の成長支援</p> <p>◆企業の事業成長に資する人的マッチング機会の創出</p> <p>⇒ 東京圏でのマッチングイベントの開催や個別マッチングの支援</p> <p>7月 ベンチャー企業等成長支援業務の委託契約締結</p> <p>8月 ベンチャー企業等の公募開始</p> <p>10月 ベンチャー企業等の公募締切【応募件数：44件】</p> <p>11月 支援対象事業者の選定【採択件数：9件】</p> <p>12月～支援プログラムの開始</p>
		<p>●雇用就労の促進</p> <p>◆就職率向上と定着促進</p> <p>⇒ 就職支援事業の実施</p> <p>4月～就職相談の実施【参加者数：延べ286人】</p> <p>6月～就職支援セミナーの実施【参加者数：延べ526人】</p> <p>◆UJIターン就職のさらなる促進</p> <p>⇒ UJIターン就職支援事業の実施</p> <p>4月～UJIターン人材確保支援補助金受け入れ登録企業募集【登録：4事業者】</p> <p>10月 UJIターン人材確保支援補助金交付決定【2件、6人】</p>
		<p>●中小企業振興の推進</p> <p>◆ICT利活用促進事業全般の周知・普及促進</p> <p>⇒ ICT利活用促進セミナーの実施</p> <p>6月～毎月1回開催【参加者数：累計26名】</p> <p>⇒ ICT利活用促進補助制度の周知、交付申請受付</p> <p>4月～申請受付【受付件数：3件】</p> <p>⇒ 中心商業地におけるキャッシュレス決済の普及促進</p> <p>7月 QRコード決済の統一規格「JPQR(*)」申込説明会を、宇都宮商工会議所と共催で実施【参加者：4事業者】</p> <p>* 一般財団法人キャッシュレス推進協議会が策定した決済用の統一QRコード</p> <p>◆円滑な事業承継促進のための新たな支援策の検討</p> <p>⇒ 事業承継促進に係る各種セミナーの開催</p> <p>12月 栃木県事業引継ぎ支援センターと共催で「事業承継・M&Aセミナー」をオンラインにより開催【参加者数：51名】</p>
		<p>●中央卸売市場の再整備</p> <p>◆賑わいエリア整備の推進</p> <p>⇒ 整備方針の作成</p> <p>4月～民間事業者への意向調査の実施</p> <p>5月～事業化手法のとりまとめ、課題の抽出（市場用地の取扱、事業主体、事業内容等）</p> <p>7月～関連事業者向け説明会の実施</p> <p>8月～飲食、物販、物流など市場の活性化や収益向上に寄与する機能の検討</p>

16	<p>「農業王国うつのみや」の 推進</p> <p>(農業企画課) (農林生産流通課) (都市魅力創造課)</p>	<p>●稼げる農業経営体の確保・育成</p> <p>◆実効性のある人・農地プラン（担い手への農地集積・集約化を図るための将来方針）の策定 ⇒ 地域における検討支援</p> <p>4月～人・農地プラン策定地区（28地区）に対する地域農業者の 現状や営農意向の見える化（地図化）の実施</p> <p>6月 認定農業者等への「人・農地プランへの掲載意向調査」実施</p> <p>7月～人・農地プラン掲載希望者に対する地域会合への参加促進</p> <p>8月～地域会合における検討を支援 清原地区においてプラン策定地区8地区を1地区に統合することとなったことに伴い、 プラン策定地区を28地区から21地区に変更</p> <p>9月～人・農地プランへの掲載申請受付</p> <p>12月～各地区におけるプラン素案の決定（R3.1末現在21地区中20地区）</p> <p>◆関係機関と連携した伴走型支援の仕組みの構築 ⇒ 伴走型支援の試行実施及び効果の検証</p> <p>6月～「伴走型支援」試行実施対象者（12経営体）の選定及び試行実施 昨年度に伴走型支援を試行実施した経営体（4経営体）への効果ヒアリング及び伴走型支 援の制度構築に向けた中小企業診断士や先進農家（3経営体）との意見交換の実施</p> <p>8月～県による伴走型支援の活用促進</p> <hr/> <p>●農業の生産力の向上</p> <p>◆水田再整備・大区画化の促進 ⇒ 地域の機運の醸成</p> <p>6月 認定農業者等に対する「人・農地プランへの掲載意向調査」と合わせた事業PRの実施 集落営農検討に係る地域会合及び農業委員会総会における事業PRの実施</p> <p>7月 大区画化の意向がある城山地区の農業者への事業説明</p> <p>8月～人・農地プランに係る地域会合における大区画化の提案 （21地域に呼びかけ、城山地区約16haの意向を確認）</p> <p>⇒ 事業計画の策定と実施に向けた支援（上横田地区6.1ha）</p> <p>5月 国庫補助採択決定・事業費の決定</p> <p>6月 補助金交付申請（上横田地区）</p> <p>7月 地権者と工事实施に向けた現地立ち合い実施（上横田地区）</p> <p>9月～事業追加要望の調整</p> <p>1月 農家による畦畔除去作業着工</p> <p>◆農業用ICT機器の普及促進とICTを活用した利水調整の強化 ⇒ ICT環境測定機器を活用した、いちご、トマトのモデル栽培事業の実施</p> <p>7月～栽培技術講習会開催 （第1回：育苗管理のポイント、第2回：定植直後の管理方法、第3回：生育調査の実施方法、 第4回：二酸化炭素の施用方法について、第5回：温度管理方法について、 第6回：水管理方法について）</p> <p>*モデル栽培取組農家 いちご12戸、トマト8戸</p> <p>⇒ 稲作等の生産コスト低減のためのドローン等機械の導入支援</p> <p>6月～広報紙等で補助事業を周知し、随時申請を受付</p> <p>【補助申請件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業用ドローン導入補助 1件 * このほか国の新型コロナウイルス感染症対策事業の活用により、市内農家において農業用 ドローンを導入 28件 <p>⇒ 土地改良区による円滑な利水調整の実施</p> <p>6月～うつのみや中央土地改良区が管理している堰への取水量遠隔監視システム導入に向けた 改良区との打合せ</p> <p>11月 設置箇所の検討</p> <p>1月～取水量遠隔監視システム構築業務委託発注（協議中）※うつのみや中央土地改良区発注</p> <p>◆大谷夏いちごの産地化の促進</p> <p>【人・農地】</p> <p>⇒ 夏秋いちごの安定した生産体制の確立（再掲）※IVの柱，No.12</p> <p>⇒ ほ場整備事業の推進（再掲）※IVの柱，No.12</p> <p>【技術】</p> <p>⇒ 夏秋いちごの安定した生産体制の確立（再掲）※IVの柱，No.12</p>
----	---	---

		<p>●農業の販売力の向上</p> <p>◆販路拡大に向けたマーケティング力の強化</p> <p>⇒ マーケティング調査の実施</p> <p>4月～マーケティング調査品目選定のための統計調査（～7月）</p> <p>8月～市場の拡大性や生産のしやすさについて、首都圏の市場関係者やJA等の関係機関へヒアリングを実施（～10月）【実施件数：5者】</p> <p>11月～対象品目の選定及びPEST分析の実施</p> <p>1月 マーケティング調査の進捗等について、JAと打合せを実施</p> <p>⇒ 販売力向上講座の開催</p> <p>9月 オンライン講座の参加者募集</p> <p>9月～オンライン講座開催（～10月）【受講者：35名】</p> <p>12月 オンライン講座の動画サイトでの公開</p> <p>⇒ 市内給食事業者等へのヒアリングの実施</p> <p>4月～23事業者にヒアリング実施（～1月）</p> <p>【マッチング10者、マッチング成立5者】</p> <p>⇒ 海外輸出に向けた取組</p> <p>2月～タイでの継続販売（1品目：スカイベリー）（予定）</p> <p>⇒ 首都圏の流通事業者を招いたセミナーの開催</p> <p>4月～流通事業者の情報収集</p> <p>◆ブランド力の向上と効果的なPRの実施</p> <p>⇒ 統一マークの活用促進に向けた取組</p> <p>5月 大谷夏いちごを宇都宮産ブランド農産物として認定</p> <p>10月 大谷夏いちごについて統一マークの活用によるPR開始</p> <p>2月～にら、いちごについて統一マークの活用によるPR開始（予定）</p>
17	<p>SDGs未来都市の推進</p> <p>(環境政策課)</p> <p>(政策審議室)</p> <p>(産業政策課)</p>	<p>●宇都宮市SDGs人づくりプラットフォームを通じたSDGsの推進</p> <p>◆市民等に対する効果的な周知啓発と市内における実践行動の促進</p> <p>⇒ SDGs人づくりプラットフォームの運営及びSDGsの認知度向上や実践促進に向けた各種取組の実施</p> <p>5月～HPを通じた会員の公表</p> <p>6月 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組等に関するアンケートの実施（会員163団体に対し実施）</p> <p>7月 第2回SDGs人づくりプラットフォーム運営本部会議 令和2年度事業計画及び予算の決定</p> <p>7月～会員が主催する勉強会等の情報提供</p> <p>8月～SDGs出前講座・オンラインセミナー・HP作成の検討</p> <p>10月～SDGs出前講座の実施</p> <p>11、12月 SDGsオンラインセミナーの実施</p> <p>12月～独自HPの作成中「SDGs人づくりプラットフォーム」ロゴマーク作成中</p> <p>2月 メンバーズセッション（会員交流会）の実施（予定）</p> <p>●地域新電力による再生可能エネルギーの地産地消の推進</p> <p>◆地域新電力会社の設立に向けた円滑な事業の推進</p> <p>⇒ 事業パートナーの募集・選定及び事業計画の策定</p> <p>4月 環境省への提案応募</p> <p>5月 地域新電力会社設立支援アドバイザー業務に係る事業者募集</p> <p>7月 環境省補助事業採択</p> <p>7月～地域新電力会社設立支援アドバイザー業務の実施</p> <p>事業パートナーの募集・選定に係る検討</p> <p>11月～事業パートナーの募集開始</p> <p>1月 募集締切（4グループ応募）</p> <p>2月 外部有識者による審査委員会における提案書の審査 優先交渉権者の決定（予定）</p> <p>●トランジットセンター等への低炭素技術導入の推進</p> <p>◆LRT整備等と連携した低炭素技術の円滑な導入</p> <p>⇒ トランジットセンターへの導入設備の検討・選定</p> <p>4月～清原工業団地TCへの低炭素設備の導入に向けた必要容量や整備スケジュール等の検討</p>

VI 「交通の未来都市」の実現に向けて（都市空間・交通 分野）

No	事業名 (所管課)	●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組（1月末現在）
18	<p>拠点化の促進 【立地適正化計画の推進】</p> <p>(都市計画課) (市街地整備課) (住宅課)</p>	<p>●都市機能等の適正な誘導推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆都市機能誘導策等の展開・充実 <p>⇒ 都市機能誘導策等の活用促進</p> <p>4月～都市機能誘導に資する補助申請に向けた事業者との事前協議等の実施</p> <p>【事前協議件数：2件】</p> <p>⇒ 居住・都市機能誘導の充実に向けた民間ニーズ等の把握</p> <p>4月～民間事業者等に対するヒアリング等の内容や対象者等についての検討・整理</p> <p>8月～民間事業者等へのヒアリング調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市街化調整区域における地区計画制度の活用促進に向けた地域の取組支援 <p>⇒ 地区計画制度の活用促進</p> <p>4月～地区計画制度活用に向けた地元組織の取組支援（国本西小学校周辺地区） 地区計画制度の活用に関する事業者からの相談対応</p> <p>5月 岡本西小学校周辺における地区計画に関する都市計画決定（さつきタウン奈坪）</p> <p>1月 岡本西小学校周辺における地区計画に関する都市計画決定（緑の丘金井久保）</p> <p>●誘導区域への居住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆支援制度の活用に向けた周知啓発の強化 ◆住宅施策の実施，民間を活用した新たな住宅施策の検討 <p>⇒ 住宅取得補助等の実施による居住誘導の促進</p> <p>4月～居住誘導支援の実施（住宅取得，家賃補助，フラット35地域活性化型など） 居住誘導支援の事業PR（市内不動産業者などの関係団体，東京の移住・定住窓口など） 新たな住宅施策の検討</p>
19	<p>中心市街地活性化の推進</p> <p>(地域政策室) (市街地整備課)</p>	<p>●「第3期中心市街地活性化基本計画」に基づく事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中心市街地の更なる活性化の推進 <p>⇒ 官民一体となった各種中心市街地活性化事業の推進</p> <p>4月～各種中心市街地活性化事業の実施（オープンカフェ事業，空き店舗活用事業，大谷石を活用した賑わい創出事業など）</p> <p>6月～国の道路占用許可に係る緩和措置を活用し，テラス営業等を可能とする「ストリート・デザイン・テラス」の実施【参加店舗：26店舗】</p> <p>7月～河川等公共空間の利活用促進に向けた社会実験</p> <p>「KAMAGAWA YARD」の実施【参加店舗数：16店舗】 (釜川欄干のバーカウンターの活用，釜川ふれあい広場における多様な活動の促進)</p> <p>中心市街地活性化協議会総会における第3期中活計画の周知</p> <p>9月～「KAMAGAWA YARD」の期間延長（～9月27日まで⇒～1月17日まで）</p> <p>「カマガワクリエイティブエリア促進プロジェクト（カマクリプロジェクト）」取組開始</p> <p>10月 第1回「カマクリ協議会」の開催（設立等）</p> <p>11月 「ストリート・デザイン・テラス」の期間延長（～11月30日まで⇒～令和3年3月31日まで）</p> <p>12月 第2回「カマクリ協議会」の開催（各種取組の進捗状況報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆LRTの導入等を見据えた官民一体となった事業の推進 <p>⇒ 「LRTまちづくり部会」において「LRTまちづくりビジョン」の策定に取り組むなど，関係者の機運の醸成</p> <p>6月～LRTまちづくり部会の開催</p> <p>宇都宮まちづくり推進機構において「LRTまちづくり研究会」を設置</p> <p>11月 「LRTまちづくり研究会」において駅東口のLRT工事現場の見学会を開催</p> <p>【参加人数 20人】</p> <p>●「タウンマネジメント機能」の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実効性の高い「タウンマネジメント機能」の構築 <p>⇒ 中心市街地活性化協議会における検討</p> <p>7月 中心市街地活性化協議会総会において取組の進め方について検討</p> <p>8月～事業パートナーを選定・調整</p> <p>11月 事業パートナーを選定</p> <p>1月 第1回中心市街地活性化協議会幹事会の開催（勉強会の概要，今後の進め方）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ● J R 宇都宮駅西口周辺地区整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 魅力ある駅前広場づくりに向けた検討の推進 ⇒ 整備基本計画の策定に向けた配置計画の検討 <ul style="list-style-type: none"> 4月～駅前広場等の交通影響について関係機関との協議 6月～基礎調査（現地測量，公図調査）の実施 10月～駅前空間のコンセプト等の検討 12月 第28回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> J R 宇都宮駅西口における最適な L R T ルートの構造を「高架案」と選定 ◆ 周辺まちづくりの推進に向けた市民との合意形成の促進 ⇒ 駅西口の再開発事業検討地区における協議会への活動支援等 <ul style="list-style-type: none"> 4月～ J R 宇都宮駅西口地区まちづくり協議会へのコンサルタントの派遣 6月 役員会・定例総会の開催 7月～役員会及び意見交換の実施 <ul style="list-style-type: none"> （駅西口 L R T 導入ルートを見据えた周辺まちづくりについて）
20	<p>J R 宇都宮駅東口地区整備の推進</p> <p>（駅東口整備室） （観光交流課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 県都の玄関口にふさわしい地区整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆ コンベンション施設の整備推進 ◆ 魅力ある景観形成 ⇒ コンベンション施設の売買契約の締結，着工，設置条例の制定のほか，国庫補助活用に向けた計画を策定 ⇒ L R T 導入空間を含めた地区全体の一体感の形成 <ul style="list-style-type: none"> 7月 コンベンション施設の実施設設計完了の報告，本市の要求水準書等との適合の確認 低炭素まちづくり計画の策定・公表 8月 コンベンション施設売買仮契約の締結 9月 コンベンション施設の財産取得に関する市議会の議決（売買契約の締結） 10月 コンベンション施設の着工 12月 宇都宮市交流拠点施設条例の制定に関する市議会の議決 宇都宮駅東口交流拠点施設の使用予約の受付開始 ● コンベンション施設への催事の誘致活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 催事誘致の強化 ⇒ 宇都宮駅東口地区整備事業 P R 業務の実施，催事誘致の強化に向けた推進体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> 7月 コンベンション施設開館前準備業務の発注 8月 直接訪問やウェブを用いた催事誘致の営業開始 10月 コンベンション施設のホームページ作成業務，及び予約管理システム構築等業務，V R アプリケーション等作成業務の発注 12月 宇都宮駅東口交流拠点施設の紹介冊子の配布開始 1月 宇都宮駅東口交流拠点施設の概要チラシのダイレクトメール発送開始
21	<p>公共交通ネットワークの充実</p> <p>（交通政策課） （L R T 企画課） （L R T 整備課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅東側のバス路線再編 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「地域公共交通利便増進実施計画」の策定 ⇒ 再編後のバス路線の運行内容に関する関係機関との合意形成 <ul style="list-style-type: none"> 4月～既存路線を含む再編後のバス路線全体の運行ルート，運行本数等の詳細に関するバス事業者や周辺自治体等との協議の実施 3月 地域公共交通利便増進実施計画の策定（予定） ◆ 再編後のバス路線の市民・企業等への周知 ⇒ 地区別説明会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 4月～清原工業団地総合管理協会へのバス路線再編の検討状況の報告 地区別説明会開催の検討 10月 清原工業団地内の企業へのバス路線再編の検討状況の報告 ◆ 再編後のバス路線の維持・存続に向けた行政支援策の構築 ⇒ 新たな行政支援策の構築 <ul style="list-style-type: none"> 4月～バス路線再編の円滑な実施や再編後の路線の維持・存続に向けた新たな行政支援策の検討 ● 駅西側のバス路線再編 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 駅西側の L R T 導入に合わせたバス路線再編素案の検討 ⇒ L R T の整備区間の検討と合わせた再編案の検討 <ul style="list-style-type: none"> 4月～大通り区間におけるバスと L R T との適切な役割分担の検討

		<p>●交通 I C カードの円滑な導入</p> <p>◆地域独自サービスの決定と地域連携 I C カードの所有率の向上</p> <p>⇒ 地域独自サービスの詳細検討, システム構築</p> <p>4 月～上限運賃制度, 高齢者外出支援事業などの行政サービスの詳細の検討 「宇都宮 I C カード導入検討協議会」における交通ポイントサービスなどのサービス内容の検討 地域独自サービス実現のための地域連携 I C カードシステムの開発</p> <p>3 月～ I C カードの利用開始 (路線バス) (3 月 2 1 日開始予定) 地域独自サービスの開始 (順次)</p> <p>⇒ I C カードの普及促進策の実施</p> <p>4 月～「宇都宮 I C カード導入検討協議会」における地域連携 I C カード普及促進策の検討 カード名称・デザインの検討</p> <p>8 月 カード名称・デザインの決定・公表</p> <p>9 月～バスカードの販売・利用終了やバスの乗降方法変更等の周知</p> <p>1 0 月～地域独自サービス (高齢者外出支援事業の I C カード化等) についての周知</p> <p>1 2 月～サービス開始予定日及びサービス内容の周知</p>
22	<p>L R T 整備の推進</p> <p>(L R T 企画課) (L R T 整備課) (建設用地室) (地域政策室) (交通政策課) (都市計画課) (市街地整備課)</p>	<p>● J R 宇都宮駅東側の L R T 整備</p> <p>◆ L R T 整備の計画的な実施</p> <p>⇒ L R T の整備</p> <p>4 月～ L R T 整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼怒川橋りょう工事 (前年度より継続) ・鬼怒川周辺等の高架構造物工事 (〃) ・清原工業団地内の軌道工事等 (〃) ・車両基地工事 (〃) ・車両製造 (〃) <p>5 月 ゆいの杜付近の道路工事 第 1 6 回 L R T デザイン部会の開催</p> <p>6 月 第 2 6 回 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催 清原工業団地内の停留場新築工事 (清原工業団地北・作新学院北)</p> <p>7 月 第 1 7 回 L R T デザイン部会の開催 第 2 回 芳賀・宇都宮 L R T 停留場名称検討委員会の開催</p> <p>8 月 第 1 1 回 L R T 車両部会の開催 (車両製造状況の報告等) 第 2 7 回 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催</p> <p>9 月 清原工業団地内へのレール敷設</p> <p>1 0 月 第 3 回 芳賀・宇都宮 L R T 停留場名称検討委員会の開催</p> <p>1 1 月 宮みらい地区内のレール敷設に伴う地盤改良工事</p> <p>1 月 第 1 8 回 L R T デザイン部会の開催 議員協議会の開催 事業スケジュール・事業費の見直しについて公表</p> <hr/> <p>● J R 宇都宮駅西側の L R T 導入</p> <p>◆ L R T の事業化に向けた検討</p> <p>⇒ 事業化に向けた交通結節点や道路空間再編等の検討, 関係機関との協議・調整</p> <p>6 月 第 4 回 L R T まちづくり部会の開催</p> <p>7 月 第 5 回 L R T まちづくり部会の開催 第 7 回 交通結節点等基盤整備部会の開催</p> <p>7 月～駅西口 L R T 導入ルートに係るまちづくり関係者との意見交換等</p> <p>8 月 第 2 7 回 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催 (再掲)</p> <p>1 1 月 第 8 回 交通結節点等基盤整備部会の開催 第 6 回 L R T まちづくり部会の開催</p> <p>1 2 月 第 2 8 回 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催 J R 宇都宮駅西口における最適な L R T ルートの構造を「高架案」と選定</p> <p>第 9 回 交通結節点等基盤整備部会の開催</p> <p>1 月 第 7 回 L R T まちづくり部会の開催</p>

<p>● L R T 沿線のまちづくりの推進</p> <p>◆ J R 宇都宮駅東側における L R T 沿線まちづくりの推進</p> <p>⇒ (仮称) 平出町トランジットセンターゾーンにおける拠点形成</p> <p>5月～栃木県(都市計画課, 都市整備課, 農地整備課)との協議</p> <p>7月～国(宇都宮国道事務所), 栃木県警察本部, 栃木県(宇都宮土木事務所)との協議</p> <p>8月 「(仮称) 平出町トランジットセンターゾーン整備基本方針」の策定・公表</p> <p>9月 平石地区住民説明会の開催 対話型市場調査の着手</p> <p>2月 対話型市場調査結果概要の公表</p> <p>⇒ 清原地域の各電停周辺のまちづくり検討</p> <p>8月～地域との意見交換を実施</p> <p>⇒ 市街化区域の停留場周辺(誘導区域内)</p> <p>8月～居住・都市機能誘導の充実に向けた民間事業者等へのヒアリング調査の実施</p> <p>◆ J R 宇都宮駅西側における L R T 沿線まちづくりの推進</p> <p>⇒ L R T まちづくりビジョンの検討</p> <p>6月 第4回 L R T まちづくり部会の開催</p> <p>7月 第5回 L R T まちづくり部会の開催</p> <p>8月 第27回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催(再掲)(ビジョンの検討状況報告)</p> <p>11月 県央まちづくり協議会交流会におけるビジョン検討状況の共有化 第6回 L R T まちづくり部会の開催</p> <p>1月 第7回 L R T まちづくり部会の開催</p>	<p>● L R T 事業に関する市民理解の促進</p> <p>◆ L R T 事業の進捗に合わせた効果的な情報発信と機運の醸成</p> <p>⇒ 情報発信と市民協働の取組</p> <p>4月～広報うつのみやへの記事掲載(毎月)</p> <p>本庁舎1階ガラスブースの展示</p> <p>市ホームページ, L R T 専用ホームページの随時更新</p> <p>交通未来都市うつのみやオープンスクエア運営</p> <p>オープンスクエア公式 F a c e b o o k の運営</p> <p>市政情報番組(ラジオ)を通じた発信</p> <p>出前講座の実施(随時)</p> <p>L R T ラッピングバスの運行【1台3系統】</p> <p>バンパビジョン等での事業 P R 動画上映</p> <p>市民応援団 t e a m N E X T の募集(随時)</p> <p>工事情報(vol. 12-2: ゆいの杜)の発信</p> <p>5月 第16回 L R T デザイン部会の開催(再掲)</p> <p>6月 第26回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催(再掲)</p> <p>7月 シンボルマーク公表</p> <p>工事情報(vol. 16: 鬼怒通り)の発信</p> <p>第2回芳賀・宇都宮 L R T 停留場名称検討委員会の開催</p> <p>8月 第27回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催(再掲)</p> <p>9月 シンボルマーク P R 動画公開</p> <p>工事進捗 P R 動画 vol. 1 公開</p> <p>停留場壁面個性化ワークショップ(清原第1回)開催</p> <p>10月 第3回芳賀・宇都宮 L R T 停留場名称検討委員会の開催</p> <p>ベルモールへ敷地内における車両遊具設置</p> <p>J R 宇都宮駅東口覆工板にて車両外観デザインを掲出</p> <p>清原中央小学校5年生等による工事現場見学の実施</p> <p>11月 工事進捗 P R 動画 vol. 2 公開</p> <p>12月 停留場名称アンケートの実施(12/1～12/28)</p> <p>停留場壁面個性化ワークショップ(清原第2回)開催</p> <p>L R T 車両愛称アンケートの実施(12/15～R3. 1/15)</p> <p>専用 H P にて「車両写真基地」ページ公開</p> <p>1月 事業スケジュール・事業費の見直しに係る周知(市 H P 等)</p>
---	--

■ 「行政経営基盤の強化」に向けて（行政経営 分野）

No	事業名 (所管課)	●令和2年度の主な事業内容 ⇒令和2年度事業内容の達成のための取組（1月末現在）
23	<p>スマートシティの推進</p> <p>(情報政策課) (政策審議室) (保健福祉総務課) (高齢福祉課) (健康増進課)</p>	<p>●地域情報化の推進</p> <p>◆市民サービスの向上</p> <p>⇒ AIを活用した自動応答サービスの対象業務拡充 6月～LINEを活用したAI自動応答サービスの対象分野拡充に向け 市民からの問い合わせ内容等を分析 8月～「子ども子育て」分野の次に拡充する分野の選定 10月 拡充分野として「家庭ごみ分別分野」を選定し構築開始 2月 「家庭ごみ分別分野」での運用開始（予定） (参考) LINEを活用したAI自動応答サービスの登録者数5,683人(1/31末現在)</p> <p>⇒ マイナポータルを活用した行政手続きのオンライン化 4月 対象業務の選定(子育て・介護・災害分野) 5月～オンライン化開始時期の調整及び必要な機器の選定 11月 マイナポータルの活用に必要なシステムの構築開始 2月 子育て分野7業務(児童手当の現況届など)及び介護分野6業務(要介護認定申請など)において手続きのオンライン化を開始(予定)</p> <p>◆地域社会の活性化</p> <p>⇒ 5G, IoT等を活用した地域産業の生産性向上等 4月～経営力強化・生産性向上のためのICT利活用拡大に係る各種補助金の申請受付 8月～栃木県産業振興センター等産業支援団体や市内IT企業, 市民活動団体などへのヒアリングを実施 10月～産業界や市民活動の情報化に係る現状と課題の整理 12月～IT初心者からIT企業まで, 様々な人や企業が自由に交流・連携できる場など, 地域情報化を推進する新規事業の具体的な内容を整理</p> <p>◆ビッグデータを活用した施策・事業の導出</p> <p>⇒地域別データ分析結果等のビッグデータを活用した施策・事業導出 4月～地域別データ分析(地域の健康課題の抽出等)の取りまとめ 8月 外部アドバイザー等による評価 9月 地域別データ分析ブックの完成・公表 11月～社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会や自治会連合会等への説明 12月～第2層協議体等の場等を活用した各地区への分析結果説明</p> <p>⇒ EBPM(*)の推進によるビッグデータ分析力の向上 7月 EBPMを実践するケーススタディ対象事業の選定 EBPMの進め方等について検討 9月 外部アドバイザーと連携したEBPM実施手法の検討</p> <p>* Evidence-based Policy Making: エビデンスに基づく政策立案 10月～外部アドバイザーを活用しケーススタディを実施するとともに, EBPMの視点を踏まえたPDCAサイクルの推進について意見聴取</p> <p>◆行政運営の効率化・高度化</p> <p>⇒ テレワーク(在宅勤務, モバイルワーク, 遠隔会議)の導入・拡充 4月 遠隔会議について, 環境整備及び運用開始 在宅勤務について, 既存環境で実施可能な運用ルール等の整理及び運用開始 5月 在宅勤務について, 庁内と同様の業務執行に向けた手法等の精査 9月 在宅勤務の拡充を決定 10月 在宅勤務拡充に必要な機器の調達開始 12月 在宅勤務の実施環境を拡充(庁内と同様の業務執行が可能となる実施環境の整備)</p> <p>⇒ ICTを活用した窓口業務等の効率化 6月～タブレット端末を活用した外国語翻訳サービスについて, 新たに5箇所で開催開始 保育園の登降園管理業務等におけるICT活用実証 10月 RPA導入作業開始(講習会業務支援など2業務), 道路・公園・河川の危険箇所等に関する市民からの通報システムの構築開始 保育園入所先行事務におけるAI等の活用実証開始 1月 RPAについて, 一部業務で試行運用開始</p>

●Uスマート推進協議会における取組の推進

◆実証実験の円滑な実施に向けた支援

⇒ 協議会の運営

6月 臨時総会（事務局運営に係る市交付金申請）

8月 第1回総会（令和2年度実証実験事業計画等）

◆社会実装に向けた持続可能な仕組みづくり

⇒ 大谷地域における観光型MaaS（*）プロジェクトの実施

6月 国庫補助金活用に向けた事業提案の実施
（国土交通省日本版MaaS推進・支援事業に採択（7月））

8月 実証実験事業計画の策定

10月 観光型MaaS実証実験の実施

※ 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発出により実証実験を一時中断中

* 「MaaS」とは、一つのアプリやウェブサイトで複数の交通手段の予約や支払いができる仕組みのこと。

①グリーンスローモビリティ等の多様なモビリティを活用した周遊促進（10/31～11/6）

【主な利用実績】

グリーンスローモビリティ（CV8）：2,056

グリーンスローモビリティ（ハイカート）：478

レンタサイクル：192 くるくるバス：593（*10/24～11/3のうち5日間）

②MaaSアプリによる交通チケット販売等のワンストップサービス（10/31～1/31）

【主な利用実績】※12月末時点

アプリダウンロード数：463

AI相乗り観光タクシー利用者数：85

地底湖ツアー利用者数：2

⇒ 地域内交通運行・予約システム導入プロジェクトの実施

8月 実証実験事業計画の策定

12月～実証実験の実施（予定）

※ 緊急事態宣言解除後の実証実験実施に向けて調整中

⇒ カーシェアリング走行データ利活用プロジェクトの実施

8月 実証実験事業計画の策定

10月 観光型MaaS実証実験の実施と合わせて実証実験を実施

⇒ 顔認証技術等を活用した来訪者の回遊促進プロジェクト

8月 実証実験事業計画の策定

1月～実証実験の実施（予定）

⇒ AIカメラ・センシング・デジタルサイネージ等による情報発信・データ分析プロジェクト

6月 国庫補助金活用に向けた事業提案の実施
（国土交通省スマートシティ先行モデルプロジェクトの継続事業支援対象に採択（7月））

8月 実証実験事業計画の策定

12月～実証実験の実施

※ 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発出により実証実験を一時中断中

【サイネージの利用実績】<2020年12月7日～23日>

店舗一覧の表示件数 1,718件

店舗詳細の表示件数 583件

クーポンの発行件数 21件

クーポン利用件数 4件

ニュースの表示件数 177回

⇒ 災害避難所エネルギーマネジメントプロジェクト

8月 事業計画の策定、シミュレーション等の実施